

高3の夏休みの勉強法

「夏を制する者は受験を制す」「夏は受験の天王山」高3の受験生にとって夏休みの40日間は大切な期間です。この夏を充実させるためには、計画と生活リズムが大切です。受験の範囲は膨大ですが、夏休みにできることは限られます。優先順位を決めて、2学期を迎えたときに「〇〇をやりきった」と言えるように頑張ってください。また、夏を走りきるには生活リズムが重要です。起床時間、勉強をする時間、就寝時間を決め厳守してください。

夏休みの英語学習について

英語は日々の努力。しつこいぐらいこつこつやっていきましょう。「補習」も活用して、毎日継続。

○英単語・スクランブルを完璧にする

英語の基礎基本のこれを、やってください。眺めたり聞き流したりするだけでは、身につけません。赤シートなどでクイズ形式にして、瞬間的に答えられるか、と自分に問いをたてながらやりましょう。いつまでも続くと思われるこの作業を終わらせるためには、100%覚えようという本人の意識が大切です。これらと別に、演習中に知らない表現が出てくれば、その都度覚えなといけません。暗記は最後まで続きます。「**英単語ターゲット、スクランブル参考書、スクランブルトレーニング問題集**」

○英文解釈・長文読解

上の単語と文法に目処をつけ、英文解釈・読解の本をやっていきましょう。1冊目は、「基礎」や「初級」などのレベル1の本から演習しましょう。なんとなく意味をとるのではなく、**全ての表現を把握し暗記**するためです。自分に合う解説と、音声がある教材を選びましょう。出題者の問いに、ピントの合った答えを出すことを意識しましょう。2冊目…「**得点力を高める標準問題特訓リーディング**」(市販)

夏に読解をやりこんだ後の2学期以降は、違う景色がみえているはずですよ。

○リスニングのことを忘れないで

音声教材を利用して、夏休み中も毎日英語を聞いてください。①間違えたら、日本語のスクリプトでどう間違ったかを確認する。②どの音(表現)が聞き取れなかったか確認する。③復習後に音読する。「**過去の学校のリスニング教材**」など

○第一志望の過去問

一度は、解いてみて今後の勉強の方針をたててください。英文のテーマ・記述の量・試験時間・英作文・和訳の有無などの特徴をチェックしましょう。穴埋め問題や(自由)英作文の強化は、「**Vision Quest のワーク**」の part1 の復習から。共通テストの演習は **2学期の授業**で行います。

夏休みの国語学習について

古典について(夏休みは、古文・漢文を中心に勉強するのが良いです。)

古文について○必ず毎日、5分は「誰が」「何をしたか」を考えながら音読すること。

○重要古文単語を覚えること。(約300語) 『古文単語315』桐原書店

○用言(動詞、形容詞、形容動詞)、助動詞、助詞を覚え、識別ができるようにすること。

『古文ハンドブック』東進ブックスの説明がわかりやすいので、推薦します。

○敬語、和歌(修辞法)、古典常識などの理解を深めること。

『古文ハンドブック』東進ブックスの説明がわかりやすいので、推薦します。

○問題集(本文の訳ができるようにしてください。『マーク式基礎問題集 古文』河合出版を推薦します。)

漢文について○必ず毎日、5分は「誰が」「何をしたか」を考えながら音読すること。

○漢字を覚えること。常用漢字約 2136 字(音読みと訓読みも確認すること)と漢文だけで用いる漢字約 200 字)

○句法、約 50 を覚えること。句法については『漢文のヤマのヤマ』学研の説明がわかりやすいので、推薦します。

○漢詩、漢文の常識などの理解を深めること。『漢文のヤマのヤマ』学研を推薦します。

○問題集(本文の訳ができるようにしてください。『マーク式基礎問題集 古文』河合出版を推薦します。)

現代文について

①語彙を増やす。漢字(漢字ドリル)をよく勉強してください。音読み、訓読みもチェックすること。)慣用句、評論文を読むのに必要な用語を覚えること。

②問題集 (『マーク式基礎問題集 現代文』河合出版、駿台文庫「現代文演習 入門編」、駿台文庫「現代文演習 中級編」など。) 現代文の参考書、問題集は、書店に行き、自分が読みやすい本を探してください。本を探すのも勉強になります。

③現代文の実力をつけたい人、読解力、表現力をつけたい人は、本文を百字前後にまとめる練習をしてください。本文の初めや終わりをよく読み筆者のイイタイコト(主張)を見つけ傍線を引く。本文によく出ている語句を用い、本文のストーリーに合うように筆者のイイタイコト(主張)を中心に書けば百字前後にまとめることができます。**これは小論文の基礎練習にもなります。**

どうしてもできないときは解説に百字前後に要約した模範文があればそれをよく読み、本文を見て、模範文の要素になっている箇所に傍線を引き、その傍線の箇所を見ながら自分で 100 字にまとめてみる。これを数回繰り返せば 100 字にまとめるコツが身につきます。

小論文について

① まず、受験大学の過去問を赤本・ウェブサイトなどで探してください。書店に行き、自分の受験大学の傾向に適した本(参考書・問題)を探してください。小論文の書き方の参考書はたくさん出ています。②参考書、問題集をよく読んで、自分で何度も書いてください。自分で良く書けたと思えば、誰かに読んでもらってください。

夏休みの数学の学習について

共通

I 夏あけるまでは焦らず基本問題をこなす！！

○4プロセスであれば、B問題を。(時間がなければ※のついた問題だけでも)

○キートレであれば、Get Ready + Trainingを。

○青チャートであれば★3までで十分。

II 理系+文系で2次試験において数学を必要とする人は、一度過去問を1年分解くことをオススメします。最終ゴールを知っておくことはとても大切ですよね。

文系

共通テストを意識した勉強でよいかと思いますが、焦らず上記の基本問題を解いて土台をつくれるか。これに尽きます。共通テスト対策の実戦問題は夏あけにやりますので、夏はしっかり土台をつくれるようにしておいてください。

理I

つつい共通テストに焦りを感じてしまいがちですが、夏休みはそんなことは考えなくてよい。数I A II Bの基本問題に加え、数学Ⅲの演習(4プロレベルで十分)をしっかりとやっておくこと!

本当に後々2次で大きく差がひらきます。目先にとらわれずに共通テスト+2次で賢く点がとれるように。

理II

看護、医療、栄養、薬学など進路に幅はあるため、一括りにはなかなか出来ませんが、出来るだけ選択肢を減らさないこと。あとは過去問で傾向をつかむことと、基本問題をしっかりとこなすこと。これに尽きます。

夏休みの地歴公民科の学習について

① 世界史B

学習内容について

(1) 教科書を最後まで学習する(予習)

地歴は教科書を完了するのに時間がかかるため、ほとんど入試直前まで授業を行わざるを得ません。2学期以降の負担を減らすために、夏休み中に教科書を予め自習しておくことが重要。

(2) 3年1学期までの内容を復習する(苦手分野を中心に)

学校の補習等をうまく活用しながら、單元ごとに知識の整理をしておきましょう。

ヨーロッパ史または中国史(自分の得意な方)を柱としてタテの流れをつかんだ後、他地域の歴史とのヨコの繋がりを確認していくと、頭に入りやすいかも。

学習方法について……インプット(一問一答・学習参考書・サブノート)とアウトプット(問題演習)を効果的に組み合わせよう。

(朝) 頭が回るうちに問題演習。→使用教材は**実践問題集(解答・解説込み)**

(昼) 解けなかった分野の復習。→使用教材は**サブノート・参考書系(單元ごとにまとめる)**

(夜) 疲れた夜は単純ルーティン(基礎トレ)。→使用教材は**一問一答(暗記モノ)**

※ただし夏休みは国語・英語の学習を優先すべき。時間配分に気をつけよう。

(休日の学習時間を10時間/日とした場合、地歴にかける時間は2.5～3時間まで)

②日本史 B

○日本史に関しては手を広げず、学校で使用している教材を活用してほしいです。そろそろいろいろな参考書に移り始める時期ですが、ぐっところえて以下の方法をお願いします。

○おすすめ勉強法は、「ゼミナール」をはじめから習ったところまで全部解き直し答えが言えるようにすること。そのあと「ベストセレクト20」で語彙を暗記し最後に「教科書」を読む。順番が逆でもいいです。とにかくこの3つを使用する。

*それが終わってさらに余裕があれば、どんな問題集でもいいから1冊購入して習ったところまで全部解く。分からなくてもいいです。(参考書は購入しないで下さい)

○現役生で他の教科を勉強しながら日本史を伸ばすこれ以上最適な方法があるでしょうか。あるという人は秋の模試で証明して下さい。但し、英語と国語を140/200点オーバーにすることが条件です。(文責：浦上)

③地理 B



地理以外もやばい。→ まず地理以外の勉強をする方をオススメします☆
or 休憩時間に地理をする。

今、地理以外は大丈夫。たぶん。→ 次の問に答える。

問1 ゲートブリテン島のペニン山脈(新・古) 問2 気温の年較差が大きい地域

問3 古期造山帯に多い資源(石炭・石油) 問4 アタカマ砂漠の成因

問5 農業の土地生産性、労働生産性共に低い地域(東アジア・南アジア・アフリカ・新大陸)

問6 ウェバーによると工業立地に影響を与えるのは何の重量か 答が見当たらない人は聞きに来てね。

正答率66%以上 → センター過去問10年分やりましょう。過去問解きながらちゃんと復習しましょう。復習方法=資料集に書き込む。地図帳にまとめる。ノートにする。…自分で決めた方法でやりましょう。

正答率それ未満 or ぜんぜんつかめん → 参考書を買って2週間以内に読み切りましょう。

※参考書は東進のものをすすめますが、正直どれでも大差はないでしょう。びびっと来たものを選びましょう。

※このプリント読んで、ふ〜んとなっても、具体的に自分の計画に落とし込まないと効果ないよ。

④倫理

○世界史の人は世界史の学習に絡めて源流思想と西洋思想を、日本史の人は日本史の学習に絡めて日本の思想の学習を優先しましょう。違う歴史科目を勉強している友達を協力して、歴史的・社会的背景を理解しながら、当時の哲学・思想を学習してください。

○教科書の記述は難しいので、参考書の活用も有効です。

・大学入学共通テスト 倫理の点数が面白いほどとれる本(角川)

・共通テスト 倫理 集中講義(旺文社)

・蔭山の共通テスト倫理(学研)

ただし、必ず書店で立ち読みをして、自分にあっているかを確認しましょう。

○動画が良い人は、YouTube「ここみらいチャンネル」「mini いけ先生の倫政チャンネル」が参考になるでしょう。

- 共通テスト過去問や模試を利用して、アウトプットも並行してやりましょう。共通テスト倫理は、文章が長いので、読解力が必要になります。
- 秋以降の追い込みで十分高得点が狙えますので、夏休みは歴史の勉強のついでに取り組んでおきましょう。

⑤政治・経済

- 1学期の授業で終わった政治分野の総復習を問題集を活用して取り組んでください。さらに、補習でやる国際政治や2学期に授業でやる経済分野も時間があればやっていきましょう。
- 政経を必要とする人はあまり時間に余裕がないかもしれませんので、1日1～2時間でもいいので少しずつやっていきましょう。

夏休みの理科の学習について

・化学

これという問題集を一冊決め、その問題集を何周も解いてみる。多種類の問題集に手を出すのではなく、問題集をよく吟味して、自分に合っていると思うものを一つ決めることが大事。3周めぐらいから成績が上がり始める。根気よく取り組もう！

・生物&生物基礎

基礎固めが肝心。教科書の本文中に説明されている用語や事柄は理解できていますか。なんだかんだ言っても、共通テストは教科書の範囲以上のものは出ません。教科書に書いてあることがそのまま出題されたりもします。共通テストなどで良い成績を上げる生徒は、難問奇問が解ける生徒ではなく、基礎的な問題を確実に解けている生徒です。

具体的には、New Global 問題集の基礎チェック、チェック&演習生物・生物基礎の要点チェックをもう一度見直そう。穴埋め問題が確実にできるようになっていたら、自信を持ってください。できるようになるまで何度でも挑戦してください。

・文系化学基礎

受験戦略としては、志望校の配点を見て、勉強の配分を考えることが大切。大学受験の合否は合計得点で決まります。どこで点を取るか、よく考えて作戦を立てること。一般的に、国公立大学文系志望者にとっては、メインは英語と数学です。ところが、文系で数学が得意(得点源)の生徒は少ないでしょう。まずは数学で得点できるようになることです。これが文系での合否のカギを握っています。とは言うものの、化学基礎が0点では、いくら数学で点を取っても厳しいでしょう。足を引っ張らない程度にできればよいと考えれば、少しは気が楽です。それでは、足を引っ張らないための化学基礎の勉強法です。

- ① 教科書を3回読む。(1日30分を3週間で完了)

実は教科書を一度も読んだことがないという人も結構いるのではないのでしょうか。

1日1章ずつ読めば、6日で一通り読めます。これを3回繰り返せば、3週間で完了。

1回目は流し読み。「何が書いてあるか」くらいでいいのです。最初から「覚えてやろう！」

なんてガチガチになる必要はありません。1日1章を30分以内で読むことを目標にすればいいと思います。

2回目は少し肉付けしながら。一度読んでストーリーは頭に入っているの、次は、そこに少し肉付けしながら読むのです。肉付けしながらでも30分以内で読むことができるはず。

3回目はさらに肉付けしながら。ストーリーが頭に入り、少し肉付けできた状態で読むのです。ここでも30分以内で読むことができます。

② 簡単な問題を繰り返し解く。

ドリル的な問題を繰り返すことにより、頭の中にイメージがつけられていきます。

・物理

基本的な法則が理解できているかの見直しをしてください。基本問題や例題を解き、その単元で聞かれる項目は何なのかをまとめながら解答すると良いでしょう。物理で問われるパターンには限りがあります。そのパターンを身に着ければ安定して得点が取れるようになります。正解できた問題がなぜ正解できたのか、手が付けられなかった問題では何を知らなかったのか、一つ一つの問題に丁寧に当たることで道は開けます。リード Light ノートの問題を答えあわせするときに、解説をしっかりと読もう。解説に載っている作図が自分で描けていたか、描けていないなら理解できるかを確認しよう。

行事予定

7月20日(水)終業式 21日(木)～29日(金)夏季講習・三者面談

8月5日(金)オープンハイスクール 22日(月)～30日(火)後期夏季講習

9月1日(木) 始業式・数学Ⅲ課題考査 10日(土)11日(日)ベネッセ・駿台共通テスト模試

20日(火)体育祭予行 22日(木)体育祭

◆夏休み中の自習室について

①場所

- ・進路の間、206 教室、廊下の机、3 年生の空き教室 * 冷房は進路の間と 206 教室
- ・7 月中は図書館も開館しているので利用可。(学年の管轄外)

②使用のルール

- ・夏季補習の有無にかかわらず、土日祝日以外の平日 9:00～17:00 まで上記の場所を開放します。
- ・学年の先生の指示に従って利用すること。積極的な活用を期待しています。
- ・8/12(金)～15(月)の4日間はお盆休みとしますので自習室は開いていません。